



令和4年度 佐久市立浅科中学校グランドデザイン

【学校教育目標】

『志高錬成』

～志を高く持ち、よりよい成果を得るために、ねばり強く自分を鍛える～



【学校長の願い】

1. 生徒も教職員も「明日も学校へ来たい！」と思える学校
2. 激変する未来社会にたくましくしなやかに対応して地域を支えていく人材を育む学校

【浅科中学校全校研究テーマ】

「自ら追究、深めていくための学習指導はどうあったらよいか」

～基礎学力を確実にし、友と学びあう学習指導・支援のあり方～

【授業づくり・学びづくり】

1. 生徒の「問い」や「疑問」から出発する授業をめざします
2. 生徒同士、生徒と教師による効果的な対話を取り入れた生徒が主役の授業づくりをめざします
3. 生徒による授業評価を基にして授業づくりを見直します
4. 生徒が「わかる・できる」を実感できる授業をめざします
5. 生徒が主体的に取り組む家庭学習を支援し、習慣の確立をめざします
6. ICTの活用を工夫し、対話や深い学びにつながる学習をめざします

【「生きる力」を育む】

資質・能力の3つの柱の育成

1. 「知識及び技能」
何を理解しているか 何ができるか
2. 「思考力・判断力・表現力」
理解していること 出来ることをどう使うか
3. 「学びに向かう力、人間性」
どのように社会・世界と関わりより良い人生を送るか

【めざす生徒像】

1. 明るく豊かな生活を創り上げていく生徒
2. 自分の考えを主体的に追究・表現する生徒
3. 仲間の良さから学び、互いに高めあう生徒

【生徒の願い】

過ごしやすい学校

1. 全校生徒が楽しく過ごせる学校
2. 伸び伸び学習や生活ができる学校

【生徒会テーマ】

『つながり』

～コロナ禍でもつながれる浅科中～

1. 全校での協力や話し合い
2. 今までの生徒会とのつながり(伝統)
3. 地域の人々との交流など
(地域とのつながり)

学びや生活を豊かにするための“対話力”の向上

【認め合い、支え合う学級・学年集団づくり】

1. まずは『挨拶』から。心を開き、相手と近づく第一歩を大切にします
2. 自分の思いを発信できる積極性と相手の思いを聞き取る共感力を育みます
3. 学級・学年で『歌声』『清掃』『食事』の向上を柱に、支え合う集団づくりをめざします
4. 生徒同士、生徒と先生とのコミュニケーションの中から、多様性(違い)を認め合い、励まし合える集団づくりをめざします
5. 集団内のすべての人の存在を気遣い、生徒と教師が人権感覚を高めます

※浅科中学校区教育推進会(小中合同)

1. 学力向上・家庭学習の充実
2. 欠席が増えてきた児童・生徒への対応(未然防止・早期発見・初期対応)
3. 特別支援教育の充実

【第3次長野県教育振興計画(基本理念)】
「学びの力で未来を開き、夢を実現する人づくり」

【佐久市教育大綱(基本理念)】
「生涯にわたり主体的・創造的に学び、生きる力を育む人づくり、まちづくり」

【PTA・地域の願い】

”つなぐ“

1. あいさつや会話を通して思いやりを学び、人の温かさを大切にする
2. 学校、地域での取り組みを次世代へとつなぎ、広げてほしい

【保護者・地域との連携】

- ・ P T A 作業、講演会
- ・ コミュニティスクール
- ・ 授業参観日
- ・ 学校だより、ホームページ等
- ・ 部活動 ・ 職場体験学習
(地域の教材や人材の活用)

【学校評価アンケートより】

1. 生徒、保護者、職員によるアンケートを実施
2. 三学期の参観日で保護者へ発信
3. ICTを活用しての学校評価の実施

【未来に向けた自分づくり】

1. 地域と積極的に触れあう生徒会活動で様々な人と対話できる人間力を養います
2. 生徒主体の職場体験学習や、地域の事業所からの職業講話、地域高校の先生やそこに通う先輩からの進路講話を通して、自身の進路を自ら切り拓く力を育みます
3. 自分の中で生まれた課題や疑問を自分の力で解決していこうとする力を育みます
4. 「キャリアパスポート」を有効活用して、自分の役割を自覚し、自己表現を図ろうとする能力や態度を養います。
5. 道徳・人権同和教育・性教育を通して、命の大切さを学びます
6. 三年間を見通した系統的・探究的な「総合的な学習」の充実を図ります

※いじめ・不登校支援対応

生徒一人一人のニーズを把握し、家庭・教師間(必要に応じて関係外部機関)の連携を密にしながら、迅速かつ丁寧に生徒・保護者への支援を行っていきます